

ぜっ校長！

Season 2

第18号…前期が終わります！

平成30年10月5日（金）

稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆今日で98日間の前期が終了します！

▼98日間（本当は99日間の計画でしたが、台風21号のせいで9月4日が臨時休業日となってしまったので…）あなたにとって、どんな“半年”でしたか？ どんな自己ベスト更新がありましたか？



☆マスクと長袖のシャツ ～“Why? Cool Students!”～

▼先週、本校で『学校関係者評価委員会』という会議が行われ、授業参観にお客様を案内した時のことです。どの教室にも必ずマスクを着用している生徒が1人、2人といのです。「花粉症?」「風邪?」・・・一日の寒暖差が大きいので、きっと体調を崩してしまったのでしょうか。ところが、3年生のある教室では、何と! 8人もの生徒がマスクを着用しながら授業を受けているのです。「えっ、インフルエンザの感染予防?」「まさか、豚コレラ対策?」・・・逆に、マスクを着用していない生徒は大丈夫? マスクは、最近では“感染予防”だけでなく、“保湿保温”、“美容効果”を目的とした使用が、特に女性の間で流行しているとか? また、他人と関わることが苦手な人や、自分を主張したり表現したりするのが嫌いな人にとっては、自分の表情（顔や口）を隠すために最適のアイテムとも言われています。私は決してマスクを全面否定しているわけではありません。私もスギ花粉が飛散したりインフルエンザが流行したりする時期にはマスクを着用します。けれど、マスクをあごにずり下げて（いわゆる“あごマスク”）まで食事をしたり、マスクをしたまま来客対応をしたりしません。“TPO（時・場・状況）”をわきまめたいし、“仮面”のような使い方はしたくありません。余談ですが、外国では、「マスク＝医療関係者、病人・・・強盗」のイメージだそうです。さらに余談ですが、以前、スーパー銭湯でマスクをしたまま湯船に浸かっている男性や、喫煙所でマスクをしたままタバコを吸っている女性を見かけたことがあります、「アホか?」と思いました。



▼私が稲羽中学校に赴任して、ずっと疑問に感じることがあります。夏の猛烈に暑い時にでも、生徒の大半は“長袖”のカッターシャツや体操服を着ているのです。“クール・ビズ”とはよく言われますが、今年の夏は「半端ねえ～」暑さで、ついに“スーパー・クール・ビズ”なんて言葉が飛び交うようになりましたが、それでも生徒のほとんどが“長袖”なんです。校長会で市内の他校の校長先生にそれとなく聞いてみたら、「稲中はお金持ちが多いんですよ! ウチの学校なんか、全員“半袖”ですよ」と言われてしまいました。（“長袖”って、やっぱり生地の方だけ“半袖”より高価なんですか?）誰か、教えてください! コメディアン厚切りジェイソンが、よく“Why? Japanese People!”と叫んでいましたが、私は“Why? Cool Students!”とつぶやいています。